柏葉の杜（かしわもり）

学校だより　NO. 10
令和元年　7月　1日
八頭町立八東小学校
電話71-0108　FAX71-0107

○学びの場は、日々の生活の中にたくさんあります　～　新聞を読んでいますか？　～

校長　谷口　道行

早いもので１学期も残すところ、この７月のみとなりました。７月１９日（金）の第１学期終業式まで、学校への登校日は、今日を含めて僅か１４日となりました。１学期も瞬く間に過ぎてしまいました。早いものです。

さて、先日、ある学年の国語の授業を参観していた際に、新聞に関する題材の授業を参観しました。そこで、子供たちの家庭での様子について知る機会がありました。そこで驚いたのは、子供たちが家庭で新聞を見ていないということでした。新聞に対して興味関心があまりないということでした。子供たちの話を聞くと、「あまり新聞を読まない。」「新聞を開かない。」とのこと、古い話ですが、私自身、子供の頃いつも父や母から「新聞を読みなさい。」と良く言われていたことを思い出しました。

今、教育面でも **NIE（Newspaper In Education）** と言って、学校で新聞に触れる学習、新聞を活用した学習が導入されています。１９９６年からは、「NIE 実践校」制度（教育活動に新聞を積極的に活用する学習の実践校制度）もスタートしています。実は、こうした動きは教科書にも表れています。小学校の国語の教材として、６年生には「新聞の投書を読み比べよう」、５年生には「新聞記事を読み比べよう」、４年生には「みんなで新聞を作ろう」というような内容がこの１学期にあります。新聞を直接読み比べるもの、新聞を参考に自分たちの新聞をつくるものなど、新聞に係わる、新聞をもとにした学習があります。

これからの時代、様々な情報に触れながら、情報を理解し、情報を読み解き、それに対する自分の意見や考えを持つ力が、ますます求められます。その一つの窓口として、新聞を読むことがあります。

時代に目を向ける最初の入り口が、「新聞を読む」ことだと思います。７月２０日（土）から、夏休みに入ります。その前に、是非、家庭で新聞を読むことを、子供たちに勧めてみて下さい。スマフォでない、紙ベースでの情報に触れる体験を、この夏には取り組んでみましょう。

ところで、私自身も小学校から高校時代は家の新聞を読んでいましたが、それとは別に※深代惇郎（ふかしろ じゅんろう）さんの「天声人語」の本を、高校時代に読んでいました。みなさんもご承知の「天声人語」です。家ではこの新聞は取っていなかったので、「天声人語」をライブではなく、後から出る本で読みました。簡潔明瞭、起承転結、そして、やさしさと厳しさ、そして何よりも人間愛に溢れた文章でした。

新聞には様々な文章があります。**新聞は、多様な文章に触れることのできる学びの場**でもあります。

※深代惇郎：東京出身の新聞記者。海軍兵学校、東京大学・法学部を卒業後、朝日新聞社に入社。論説委員やヨーロッパ総局長を経て、「天声人語」の執筆担当者となり、1973 年 2 月から 1975 年 11 月にかけて同コーナーを担当する。日本のマスコミ史上、最高の知性派の一人と称され、活躍が期待されたものの、46 歳の時に急性骨髄性白血病で夭折。著書：「深代惇郎の天声人語」など。

○東部教育局前期学校訪問を終えて　～　子供の成長した姿を参観いただきました。　～

先週２４日（月）に、１学期の東部教育局前期学校訪問がありました。東部教育局より吉川局長他２名、県小中学校課より岸田係長、そして、町教委より藪田教育長・竹本指導主事・西田指導主事にも来校いただき、７名のみなさんに午後の５校時、全学級の授業を参観いただきました。

始めに、１５分あまりのプレゼンを使い、今年の八東小学校教育について話しました。その後、全学級の授業を参観していただきました。その後、協議意見交換を行い、みなさんから本校の学校教育の取り組み、そして、児童の学習や生活の様子について、たくさん誉めていただきました。以下、何点かお伝えします。

【参観者のみなさんから】

- **子供たちが落ち着いて学習に向かう姿があり、児童も先生も明るく授業する様子が見られた。**
- **教材研究をどの授業もしっかりされ、電子黒板やホワイトボードなども効果的に活用されていた。**
- **子供たちが自分の考えをしっかりと話す姿、最後まで言い切る姿があり、しっかり話す・聞く姿の成長が見られた。**
- **学習規律も育っている。今後は更に次のステップへの取り組みを進めてほしい。教師がリードする授業から子供たちがリードするような授業への転換を。**
- **地域に支援されていることに感謝し、地域との繋がりを大切にしてほしい。そうした学びの中で、地域を愛する心を育ててほしい。**
- **Society 5.0の時代が来ようとも、大切なのは語彙力。語彙力を更に一層、伸ばしてほしい。**

統合３年目を迎えた八東小学校の教育の方向性について評価いただきました。みなさんから更なるステップへの取り組みも期待されました。**「継続と発展」を意識**し、今後も八東小学校教育の歩みを進めていきます。

○第50回交通安全子供自転車鳥取県大会
～　八東小学校の伝統は今年も守られました。今年も団体・個人とも優勝・3連覇達成　～

６月２２日（土）三朝町総合スポーツセンターにて、開催された標記の大会で、見事**団体・個人の部とも３連覇**を達成しました。緊張感溢れる実技会場で、子供たちは**集中力**と**平常心**を遺憾なく発揮し、すばらしい成績を収めてくれました。

この結果、本年度も８月７日（水）東京ビックサイトで開催される**第５４回交通安全自転車全国大会**に、鳥取県代表として参加が決定しました。今回のチームは、昨年度、全国大会に参加し、実技をした児童、見学参加した児童で構成されます。今年も昨年に負けないチームができています。

これから大会本番に向け、更に練習を積み重ねていきます。保護者のみなさんの御支援をどうぞよろしくお願いします。

思えば、こうした結果となっているのも、すばらしい指導者（**城光寺照進さん、尾崎淑子さん**）お二人に継続して指導いただき、更には、専用の練習場とも言える安部小学校の体育館を、雨の日も雪の日も利用できること、こうしたことが八東小学校自転車クラブの力となっています。みなさんに心から感謝します。新しい八東小学校の伝統・歴史が、着実に築かれています。

【大会結果より】

○団体の部　・優勝：八東Aチーム（藤田さち・飯田愛和・樋引美菜穂・藤田紗那）
　　・準優勝：八東Bチーム（木原光葵・石山礼実・中野幸志朗・藤田ひろ）
○個人の部　・優勝　樋引美菜穂　・第2位　飯田愛和　・第3位　藤田さち
○優秀賞　・藤田紗那　・木原光葵　・石山礼実　・中野幸志朗　・藤田ひろ

○落語の会から
～　日本古来の話芸に浸りました　～

梅雨入りした６月２７日（木）、関西から落語家のみなさんに来校いただき、全校で落語を視聴しました。当日は、夜、船岡地区公民館で「八頭町落語」の会があり、その前段として遠見山ホールで、八頭町観光大使の**桂三風さん、月亭遊方さん、旭堂南湖さん**に落語と講談を披露いただきました。落語の約束事、扇子や手拭いの使い方なども説明していただき、全校児童が楽しく、日本の文化、日本語の豊かさに触れるすばらしい機会となりました。児童もステージ上で、扇子や手拭いの使い方を勉強しました。

○子供たちの学習への
地域のみなさんの協力に感謝します。

この１学期も子供たちの学習に多くのみなさんの御協力を頂いています。

６月１５日の参観日には、１／２年生は合同で生活科の地域探検発表会をしました。この学習では、**地域のたくさんの施設（オズガーデン、太田邸、新興寺、八東地域福祉センター、三山口畜産団地）**を訪問し、みなさんの御協力を頂いています。３年生は**大村農園**での梨の大袋かけ作業の体験、４年生は**八東川清流クラブ**の方との八東川と環境についての学習、５年生は**県東部建築住宅事務所**の方とのバリアフリーを考える車いす体験学習と、**県土整備局**のみなさんとの水害・土砂災害について防災学習、６年生は**東部振興課**の方ととのジビエ学習で獣害の状況、野生動物の食肉活用などを学びました。

地域のみなさんとの学習、地域を知る学習を、今後も継続して進めていきます。また、夏休み中にも子供の自由研究への御支援もお願いします。２学期以降もどうぞよろしくお願いします。

○1年生・2年生の研究授業から　～　1時間みんな一生懸命に勉強しました　～

【一心に問題に向かう姿】

６月２６日（水）、校内の授業研究会を開催し、１・２年生の算数の授業を全教員で参観しました。子供たちは両学年とも、たくさんの先生方に参観され、少し緊張していたようでしたが、自分の考えをみんなの前で発表し、一生懸命ノートに式や自分の考えを書く様子がたくさん見られました。１年生も文字を覚えたばかり、ノートに書くようになったのもついこの前です。成長ぶりに感動します。そして、２年生も練習プリントに意欲的に取り組む姿がたくさん見えました。「今日は２枚目もできた。」うれしそうに話す子供の姿に成長を感じました。**がんばれ１年生、２年生。**